

都市再生整備計画 事後評価シート
国富地区

平成24年3月

宮崎県国富町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	宮崎県		市町村名	東諸県郡国富町		地区名	国富地区		面積	880ha			
交付期間	平成19年度～23年度		事後評価実施時期	平成23年度		交付対象事業費	3492 国費率		0.411				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	道路(4路線)、地域防災施設(三名)									
			提案事業	庁舎耐震対策事業(稲荷)、事業活用調査(交通安全・防災に対する意識調査)、まちづくり活動推進事業(安心安全な地域づくり推進事業、すこやか学童保育事業、校内緊急時110番通報事業、健康づくり推進事業)									
	当初計画から削除した事業		事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
			基幹事業	道路(本庄高校下線)			計画見直しに不測の期間を要したため			他の事業によって健康増進施設利用者や安心安全に関する満足度等が変動する可能性があるため、まちづくり目標及び数値目標は据え置く。			
	新たに追加した事業		提案事業	川南地区健康増進センター整備事業(川南)、事業活用調査(安心安全まちづくり行動計画策定)			健康増進センターは、防災機能の向上に資する公共公益施設の整備に該当することから基幹事業へ移行する。安心安全まちづくり行動計画は、町内一円を対象として考える必要があるため削除する。			影響なし			
			基幹事業	道路(8路線)、川南地区健康増進センター整備事業(川南)、広場(大熊区公園)、高質空間形成施設(国富運動公園)			・道路改良、側溝改修により歩行者及び車の安全確保を行う。・健康志向からウォーキングが盛んに行われており町民が安全に運動できるコースを確保する。			他の事業によって健康増進施設利用者や安心安全に関する満足度等が変動する可能性があるため、まちづくり目標及び数値目標は据え置く。			
交付期間の変更		当初	平成19年度～23年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-						
		変更	-										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	防災に関する満足度	-	2.5	平成18年度	2.8	平成23年度	-	2.8	○	あり なし	防災に対する施設の整備と訓練等の取組みにより防災意識が高まってきており目標値を上回る結果を得た。	平成24年7月頃
	指標2	安心安全に関する満足度	-	2.7	平成18年度	3.0	平成23年度	-	2.7	△	あり なし	道路改修工事が平成23年度に集中し、整備効果が市民に伝わりにくかったと思われる。歩行者の安全性を向上させるための道路整備事業の完了後は、満足度の向上が期待できる。	平成24年7月頃
	指標3	避難地の確保率	%	58	平成18年度	100	平成23年度	-	100	○	あり なし	設定された避難区域は、平成22年度の避難所及び避難路の整備により目標値を達成した。	
	指標4	健康増進施設の利用者数	人/年	0	平成18年度	8,000	平成23年度	-	9,600	○	あり なし	地域住民の健康への関心が高いこと、また地域のニーズを満たした施設であることにより目標を達成した。	平成24年7月頃
	指標5	生活排水処理率	%	42	平成19年度	55	平成23年度	-	50	△	あり なし	公共下水道整備、合併処理浄化槽の補助推進事業により下水道整備区域は拡大し、処理率も向上したが、各戸の下水道へのつながりに至るまでには時間を要することから、目標値に達することができなかった。	平成24年7月頃
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	防災に対する住民意識の向上	点	3	平成18年度			-	3.4		自主防災防災組織づくりや防災訓練等により意識の向上がみられた。	平成24年7月頃	
	その他の数値指標2	健康増進に対する住民意識の向上	点	3	平成18年度			-	4.4		健康増進に対する意識の向上が確認できた。	平成24年7月頃	
	その他の数値指標3	生活環境に対する満足度	点	3	平成18年度			-	3.8		下水道整備により生活環境満足度の向上が確認できた。	平成24年7月頃	
4)定性的な効果発現状況	・避難地及び避難道路により、有事の際の安心感が増したとの声が聞かれる。・森永地域の子どもの放課後の安全確保について評価する声がある。 ・自主防災防災組織をさらに一歩踏み込んだ活動にする動きが一部みられる。												
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング		なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				- - -		
	住民参加プロセス		なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				- - -		
	持続的なまちづくり体制の構築		自主防災防災組織づくりと防災訓練等				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● - - 更なる防災施設整備や防災体制の拡充、自主防災防災組織育成と活動支援を行う。		

様式2-2 地区の概要

国富地区(宮崎県国富町) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
安心・安全で住みよい元気なまちづくり ・防災機能の整備充実や住民による防災活動の機能を高め、災害に強い安全な地域づくりを目指す。 ・交通の利便性や安全性、歩行環境の向上を目指す。 ・子どもの安心安全対策や地域住民の健康づくり、生活環境整備の推進を通して住みよい元気なまちづくりを目指す。	防災に関する満足度	単位：—	2.5 H18	2.8 H23	2.8 H23
	安心安全に関する満足度	単位：—	2.7 H18	3.0 H23	2.7 H23
	避難地の確保率	単位：%	58 H18	100 H23	100.0 H23
	健康増進施設の利用者数	単位：人/年	0 H18	8,000 H23	9,600 H23
	生活排水処理率	単位：%	42 H19	55 H23	53.1 H23
	防災に対する住民意識の向上	単位：点	3 H18		3.4 H23
	健康増進に対する住民意識の向上	単位：点	3 H18		4.4 H23
	生活環境に対する満足度	単位：点	3 H18		3.8 H23

- 提案事業
(事業活用調査)
・交通安全・防災に対する意識調査
(まちづくり活動推進事業)
・安心安全な地域づくり推進事業
・すこやか学童保育事業
・校内緊急時110番通報事業
・健康づくり推進事業
(地域創造支援事業)
・川南地区健康増進センター水道整備事業
・庁舎耐震対策事業

■提案事業
(地域創造支援事業)
森永児童館整備事業




■基幹事業
(地域生活基盤施設)
川南地区健康増進センター



- 関連事業
(小中学校の校舎・屋内運動場の耐震対策事業)
・木脇、本庄、八代
(安全なまちづくり防犯灯設置事業)
・木脇、本庄、八代
(汚水処理施設整備交付金)
・十日町地区

■基幹事業
(道路事業)
森永福山線

■基幹事業
(高質空間形成施設)
国富運動公園

■基幹事業
(道路事業)
宮丸十日町東線

■基幹事業
(道路事業)
向陽線

■基幹事業
(地域生活基盤施設)
地域防災施設



三名地区湛水施設

■基幹事業
(道路事業)
平城下線

■基幹事業
(道路事業)
向高須志田線

■提案事業
(地域創造支援事業)

■基幹事業
(道路事業)
仲町3号線

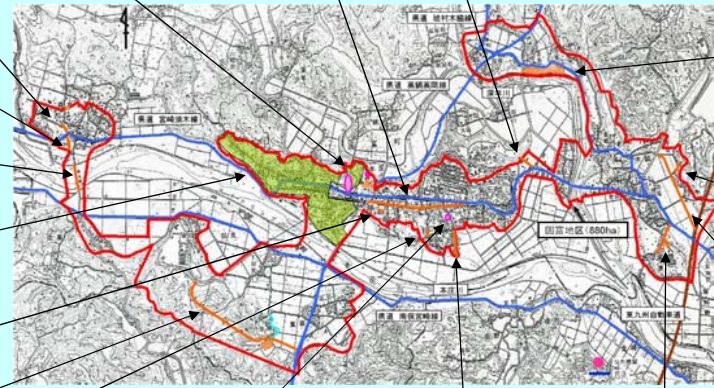
■基幹事業
(道路事業)
嵐田尻線

■基幹事業
(道路事業)
犬熊線

■基幹事業
(地域生活基盤施設)
犬熊区公園

■基幹事業
(道路事業)
六日町犬熊線

■基幹事業
(道路事業)
牟田塚原線



まちの課題の変化

- ・三名地区地域防災施設や避難所・避難路等の整備による水害対策に加え、自主防災防災組織発足等により、防災に関する満足度や地域住民の防災意識の満足度が向上してきている。
- ・嵐田尻線新設及び主要町道の拡幅等による交通渋滞緩和、森永歩道橋整備や地区内町道の側溝整備により、歩行空間確保が図られ、安心安全に対する満足度が向上してきている。
- ・公共施設耐震化による大地震に対する機能性向上。
- ・公共下水道、合併処理浄化槽の整備による環境向上が図られた。

今後のまちづくりの方策
(改善策を含む)

- ・大災害を想定した施設整備をさらに進めるとともに、きめ細かな安心・安全のためのインフラ整備を促進する。
- ・自主防災防災組織の活動強化促進。
- ・公共下水道加入や合併処理浄化槽の拡大による更なる生活環境の向上。

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標	●			生活排水処理率を追加した。	平成20年度から公共下水道事業を提案事業に追加したため。
C. 目標値		●			
D. その他()		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	嵐田尻線	1,200	L=1,850m	893.5	L=1,850m	実施設計の精査により事業費が減少。	影響なし	●	
道路	岩知野平原線	250	L=980m	211.4	L=980m	実施設計の精査により事業費が減少。	影響なし		●
道路	牟田塚原線	60	L=707m	87.1	L=707m	実施設計の精査により事業費が増加。	影響なし	●	
道路	向高須志田線	330	L=300m	83.1	L=300m	実施設計の精査により事業費が増加。	影響なし		●
道路	木庄高校下線	380	L=180m	0		地権者交渉が難航したことによる削除。	安心安全に関する目標・指標に影響するが、目標値は据え置く	-	-
道路	仲町3号線	0	-	10.2	L=104m	道路改良により、歩行者・車の安全確保を行うための事業の追加。	安心安全に関する目標・指標に影響するが、目標値は据え置く		●
道路	六日町犬熊線	0	-	32.5	L=320m	道路修繕及び側溝改修により、歩行者・車の安全確保を行うための事業の追加。	安心安全に関する目標・指標に影響するが、目標値は据え置く		●
道路	犬熊線	0	-	0.6	L=110m	側溝改修により、歩行者・車の安全確保を行うための事業の追加。	安心安全に関する目標・指標に影響するが、目標値は据え置く	●	
道路	荒牧線	0	-	0.7	L=130m	側溝改修により、歩行者・車の安全確保を行うための事業の追加。	安心安全に関する目標・指標に影響するが、目標値は据え置く	●	
道路	森永福山線	0	-	0.2	L=40m	側溝改修により、歩行者・車の安全確保を行うための事業の追加。	安心安全に関する目標・指標に影響するが、目標値は据え置く	●	
道路	平城下線	0	-	0.7	L=130m	側溝改修により、歩行者・車の安全確保を行うための事業の追加。	安心安全に関する目標・指標に影響するが、目標値は据え置く	●	
道路	向陽線	0	-	9.9	L=180m	側溝改修により、歩行者・車の安全確保を行うための事業の追加。	安心安全に関する目標・指標に影響するが、目標値は据え置く		●
道路	宮王丸十日町東線	0	-	96	L=1,475m	側溝改修により、歩行者・車の安全確保を行うための事業の追加。	安心安全に関する目標・指標に影響するが、目標値は据え置く		●
公園									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	三名	630	A=22,759㎡	661.7	A=22,759㎡	実施設計の精査により事業費が増加。	影響なし	●	

地域生活基盤施設	川南地区健康増進センター	0	-	220.3	A=6,301㎡	防災機能の向上に資する公共公益施設の整備に該当することから基幹事業へ移行する。	影響なし	●	
地域生活基盤施設	犬熊区公園	0	-	28.2	A=1,500㎡	安全な児童の遊び場とオープンスペースを整備して地域の交流の場を確保するための事業の追加。	この指標には影響するが、目標値は据え置く		●
高質空間形成施設	国富運動公園	0	-	25.7	A=1,000㎡	グラウンドコートウォーキングコースとしての利用者が多く、透水型弾性舗装による、より快適な空間形成のための事業の追加。	この指標には影響するが、目標値は据え置く		●
高次都市施設									
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

※1.事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	川南地区健康増進センター整備事業	170	A=600㎡	0	-	- 防災機能の向上に資する公共公益施設の整備に該当することから基幹事業へ移行する。	影響なし	-	-
	庁舎耐震対策事業	210	A=2,235㎡	208.8	A=2,235㎡	- 実施設計の精査により事業費が減少。	影響なし	●	
	下水道整備事業	0	-	41	A=73ha	- 生活環境向上のための事業の追加。	まちづくりの目標である生活環境整備を推進するため下水道整備事業を追加したが、既設定の指標では評価できないため、新たに指標を設定した。	●	
	森永児童館整備事業	0	-	104.6	A=1,274㎡	- 放課後児童の安全な居場所確保のための事業の追加。	影響なし	●	
	川南地区健康増進センター水道整備事業	0	-	8.1	L=404.3m	- 川南地区健康増進センターの整備にあたり、安定した水を供給するための事業の追加。	影響なし	●	
事業活用調査	交通安全・防災に対する意識調査	1	-	4.5	-	- 数値目標に関する事業効果分析や本計画における効果の持続を図るための調査費用を新たに追加。	影響なし		●
	安心安全まちづくり行動計画策定	4	-	0	-	- あらゆる災害に加え、防犯や交通安全等を考慮し、幼児から高齢者まで、幅広い年齢層に町内一円を対象として考える必要があることから削除。	影響なし	-	-
まちづくり 活動推進事業	安心安全な地域づくり推進事業	3	-	1.2	-	- 事業量縮小による事業費の減少。	影響なし		●
	すこやか学童保育	25	-	10.5	-	- 事業期間短縮による事業費の減少。	影響なし		●
	校内緊急時110番通報事業	6	-	0.8	-	- H20年度に初期の目標を達成したと判断し、以後の事業を取り止めたことによる事業費の減少。	影響なし	●	
	健康づくり推進事業	6	-	2.9	-	- H21年度までに効果が得られたと判断、以後の事業を取り止めたことによる事業費の減少。	影響なし	●	

※1. 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考) 関連事業								
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画		
小中学校の校舎・屋内運動場の耐震対策事業		木脇・木庄・八代	1,810	1,810	平成10年度～平成20年度	平成10年度～平成20年度		
安全なまちづくり防犯灯設置事業		木脇・木庄・八代	11	11	平成17年度～平成19年度	平成17年度～平成19年度		
汚水処理施設整備交付金		十日町地区	0	1,641	-	平成18年度～平成22年度	下水道事業及び合併処理浄化槽の補助により生活環境の改善が図られている。	

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	単位	(参考)※1 計画以前の値 (ア)	従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無		
				基準年度	基準年度	基準年度	目標年度	モニタリング	事後評価	モニタリング	事後評価	あり	なし		
指標1	防災に関する満足度	-	-	-	2.5	H18	2.8	H23	モニタリング	-	-	モニタリング	-		
									事後評価	確定見込み ●	2.8	事後評価	○		
指標2	安心安全に関する満足度	-	-	-	2.7	H18	3.0	H23	モニタリング	-	-	モニタリング	-	●	
									事後評価	確定見込み ●	2.7	事後評価	△		
指標3	避難地の確保率	%	-	-	58	H18	100	H23	モニタリング	-	-	モニタリング	-		
									事後評価	確定見込み ●	100	事後評価	○		
指標4	健康増進施設の利用者数	人/年	-	-	0	H18	8,000	H23	モニタリング	-	-	モニタリング	-		
									事後評価	確定見込み ●	9,600	事後評価	○		
指標5	生活排水処理率	%	-	-	42	H19	55	H23	モニタリング	-	-	モニタリング	-	●	
									事後評価	確定見込み ●	50	事後評価	△		

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	調整池整備による浸水対策、避難所整備による住民の安全対策、防災時の拠点となる公共施設の耐震対策、自主防災防災組織の推進等により目標とする満足度を得られた。	-
指標2	産業用道路としての交通アクセスの整備、通学路の歩道の整備、また、放課後における学童の保育を行い子供の安全対策を推進しており安心安全に関する満足度の向上が確認できた。しかし、道路側溝の新設及び改修については整備途中で未だ十分な効果を発現できない等の要因で目標値に達していない状況である。しかし、歩行者の安全に関するアンケートでは満足23.8%、ほぼ満足54.8%が約8割をしめており、数値目標達成の可能性は高い。	-
指標3	平成21年度には避難路の嵐田尻線、平成22年度には避難所の川南地区健康増進センターが完了したことにより目標値を達成した。	-
指標4	地域住民の健康への関心が高いこと、また地域のニーズを満たした施設であることにより目標値を達成した。	-
指標5	幸団地(82戸)や雇用促進住宅(80戸)などの新たな公共下水道への加入と合併処理浄化槽の推進により、確実に処理率は向上したが、団地等のまとまった区域における新規の下水道のつなぎこみはおおむね完了しており、個別のつなぎこみや合併浄化槽補助による処理率の向上には時間を要すると思われることから、目標値達成のみこみは低いと判断した。	-

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	単位	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
				基準 年度		基準 年度					
その他の 数値指標1	防災に対する住民意識の 向上	点	-	-	3	H18	モニタリング	-	-	避難所等の整備のみならず地域住民が自ら防災・防犯活動に取組む事が重要であり、防災に対する意識が向上していることを説明する。	指標3を補完して防災に対する意識の向上度の状況を説明する。
							事後評価	確定			
その他の 数値指標2	健康増進に対する住民意識の 向上	点	-	-	3	H18	モニタリング	-	-	施設整備に伴い、更に地域住民が自らスポーツイベント等に取組むことが重要であり、健康増進に対する意識が向上していることを説明する。	指標4を補完して健康増進に対する意識の向上度の状況を説明する。
							事後評価	確定			
その他の 数値指標3	生活環境に対する満足度	点	-	-	3	H19	モニタリング	-	-	下水道整備事業によって、地域生活環境に対する満足度が向上していることを説明する。	指標5を補完して生活環境に対する満足度の状況を説明する。
							事後評価	確定			

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

<ul style="list-style-type: none"> ・避難地及び避難道路により、有事の際の安心感が増したとの声が聞かれる。 ・森永地域の子どもの放課後の安全確保について評価する声がある。 ・自主防災組織をさらに一歩踏み込んだ活動にする動きが一部みられる。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した	-	-
	予定はなかったが実施した	-	
	予定したが実施できなかった (理由)	-	
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した	-	-
	予定はなかったが実施した	-	
	予定したが実施できなかった (理由)	-	
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
地域住民により自主防犯防災組織が構築され、地元消防団の協力により危険箇所の点検、防犯防災機器の点検、講習会等を行っている。	予定どおり実施した	● 地元消防団の協力のもと、各地区の自主防犯防災組織が防犯訓練、防犯防災講座を通じて安心安全な地域づくりを推進し、また、防災マップによる危険箇所等や緊急時の対処方法の周知が図られた。	住民による「自主防犯防災組織」	引き続き、地域住民や地元代表者、行政が一体となってまちづくりを進める。
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内横断組織による検討会	総務課、福祉課、農地整備課、都市建設課、上下水道課、教育総務課、社会教育課	第1回 平成23年8月5日	企画財政課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1	指標3	指標4			
指標名		防災に関する満足度	避難地の確保率	健康増進施設の利用者数			
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	道路(嵐田田尻線)	◎	三名地区湛水対策事業及び川南地区健康増進センター整備事業、庁舎耐震対策事業等により目標値を上回る数値が得られた。	◎	本地区を東西に本庄川が流れており、川の南側に位置する川南地域の避難所として健康増進センターが整備されることにより目標値を達成した。	◎	町で行われている体育大会開催や住民の健康への関心が高いこと、また施設が住民のニーズを満たしていること等により目標値を達成した。
	道路(岩知野平原線)	-					
	道路(牟田塚原線)	-					
	道路(向高須志田線)	-					
	道路(仲町3号線)	-					
	道路(六日町犬熊線)	-					
	道路(犬熊線)	-					
	道路(荒牧線)	-					
	道路(森永福山線)	-					
	道路(平城下線)	-					
	道路(向陽線)	-					
	道路(宮王丸十日町東線)	-					
	地域防災施設(三名)	◎					
	川南地区健康増進センター整備事業(川南)	○					
提案事業	広場(犬熊区公園)	○					
	高質空間形成施設(国富運動公園)	-					
	庁舎耐震対策事業(稲荷)	◎		○			
	下水道整備事業(十日町地区)	-		-			
	森永児童館整備事業(森永地区)	-		-			
	川南地区健康増進センター水道整備事業(川南地区)	○		◎		◎	
	安心安全・防災に対する意識調査	-		-		-	
	安心安全な地域づくり推進事業	○		○		-	
関連事業	すこやか学童保育事業	-		-		-	
	校内緊急時110番通報事業	-		-		-	
	健康づくり推進事業	-		-		○	
	小中学校の校舎・屋内運動場の耐震対策事業	◎		○		-	
	安全なまちづくり防犯灯設置事業	-		-		-	
	汚水処理施設整備交付金	-		-		-	

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	更なる防災施設整備や防災体制の拡充、自主防犯防災組織育成と活動支援により、事業効果の促進を図る。	施設のPRや、各種啓発機会を利用しながら有事の際、避難地としてスムーズに機能するよう努める。	健康増進センターを各種スポーツ大会で利用したり、住民に対するPR活動などにより住民の更なる利用拡大を図る。
-------	--	--	---

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類		その他の数値指標1		その他の数値指標2		その他の数値指標3	
指標名		防災に対する住民意識の向上		健康増進に対する住民意識の向上		生活環境に対する満足度	
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	道路(嵐田田尻線)	○	防災施設整備事業等と併せ自主防災防災組織づくりや防災訓練等の実施により相乗効果として現れた結果と考えられる。	-	健康づくりへの関心が高く、住民の方々が地域コミュニティの向上を実感されていることを確認できた。	○	環境への関心は高く、下水道整備事業・道路側溝改修事業計画に対し高く評価されていることが確認できた。
	道路(岩知野平原線)	-					
	道路(牟田塚原線)	-					
	道路(向高須志田線)	-					
	道路(仲町3号線)	-					
	道路(六日町犬熊線)	-					
	道路(犬熊線)	-					
	道路(荒牧線)	-					
	道路(森永福山線)	-					
	道路(平城下線)	-					
	道路(向陽線)	-					
	道路(宮王丸十日町東線)	-					
	地域防災施設(三名)	○					
	川南地区健康増進センター整備事業(川南)	○					
	広場(犬熊区公園)	◎					
高質空間形成施設(国富運動公園)	◎						
提案事業	庁舎耐震対策事業(稲荷)	○	-	-	-	-	-
	下水道整備事業(十日町地区)	-	-	-	◎	-	-
	森永児童館整備事業(森永地区)	-	-	-	-	-	-
	川南地区健康増進センター水道整備事業(川南地区)	○	-	○	○	-	-
	安心安全・防災に対する意識調査	-	-	-	-	-	-
	安心安全な地域づくり推進事業	◎	-	-	-	-	-
	すこやか学童保育事業	-	-	-	-	-	-
	校内緊急時110番通報事業	-	-	-	-	-	-
健康づくり推進事業	-	-	◎	○	-	-	
関連事業	小中学校の校舎・屋内運動場の耐震対策事業	○	-	-	-	-	-
	安全なまちづくり防犯灯設置事業	-	-	-	○	-	-
	汚水処理施設整備交付金	-	-	-	◎	-	-

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	今後も自主防災防災組織等を中心に、地域での各種取り組みの支援に努めるとともに、防災訓練や、災害に対する心構えについて啓発することにより、事業効果の促進を図る。	健康づくり推進事業について、地域住民に対するPR活動を推進する。	公共下水道化による環境の向上及び運動施設の整備により健康的で明るいまちづくりを推進する。
-------	---	----------------------------------	--

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標2			指標5								
指標名		安心安全に関する満足度			生活排水処理率								
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業	道路(嵐田田尻線)	△	産業用道路としての交通アクセスの整備、通学路の歩道の整備、また、放課後における学童の保育を行い子供の安全対策を推進しており安心安全に関する満足度の向上が確認できた。しかし、道路側溝の新設及び改修については整備途中で未だ十分な効果を発現できない等の要因で目標値に達していない状況である。	I	-	公共下水道整備の推進により、地区内の下水道整備エリアは31ha拡大した(これにより、幸田地・雇用促進住宅への接続が可能となった)。また、あわせて合併処理浄化槽の補助事業も進め、地区内の生活排水処理戸数は、1,400戸から1,750戸に増加した。しかし、下水道整備間もないことから、今年度中に行う住宅戸数は、新規整備区域内のおよそ20%にとどまり、目標値に達することができなかった。	I	-					
	道路(岩知野平原線)	××											
	道路(牟田塚原線)	△											
	道路(向高須志田線)	××											
	道路(仲町3号線)	××											
	道路(六日町犬熊線)	××											
	道路(犬熊線)	△											
	道路(荒牧線)	△											
	道路(森永福山線)	△											
	道路(平城下線)	△											
	道路(向陽線)	××											
	道路(宮王丸十日町東線)	××											
	地域防災施設(三名)	-											
	川南地区健康増進センター整備事業(川南)	-											
提案事業	庁舎耐震対策事業(稲荷)	-			-			-					
	下水道整備事業(十日町地区)	-											
	森永児童館整備事業(森永地区)	△											
	川南地区健康増進センター水道整備事業(川南地区)	-											
	安心安全・防災に対する意識調査	×											
	安心安全な地域づくり推進事業	△											
	すこやか学童保育事業	△											
	校内緊急時110番通報事業	△											
関連事業	小中学校の校舎・屋内運動場の耐震対策事業	△			-			-					
	安全なまちづくり防犯灯設置事業	△											
	汚水処理施設整備交付金	-											

※目標未達成への影響度
 ××: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
 ×: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
 △: 数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
 -: 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類
 分類Ⅰ: 内的な要因で、予見が可能な要因。
 分類Ⅱ: 外的な要因で、予見が可能な要因。
 分類Ⅲ: 外的な要因で、予見が不可能な要因。
 分類Ⅳ: 内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	交通アクセスの改善による交通渋滞の解消、道路側溝改修による歩行者の安全確保と確実に事業は進んでいる。今後も緊急性を考慮しながら計画的に整備を進める。	今後とも、公共下水道へのつなぎ込み及び合併処理浄化槽の補助を強化し普及を推進する。		
------------------	--	---	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内横断組織による検討会	総務課、福祉課、農地整備課、都市建設課、上下水道課、教育総務課、社会教育課	第1回 平成23年8月26日	企画財政課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
水害への対策及び住民の防災活動の構築	三名地区地域防災施設や避難所・避難路等の整備による水害対策に加え、自主防犯防災組織発足による住民の防災意識が向上した。	他河川流域での水害対策。 自主防犯防災組織の一層の活性化。	大規模災害時を想定した安心・安全対策
交通アクセス道の整備や歩道の確保	嵐田田尻線新設及び、主要町道の拡幅等による交通渋滞緩和。森永歩道橋整備や地区内町道の側溝整備などによる歩行空間確保が図られた。	地区内町道の更なる歩行空間確保整備。	
公共施設の耐震対策	公共施設の耐震化により、大地震の際の機能性が向上した。	老朽化が進む公共施設の対策。(特に大規模災害時)	
住みよいまちづくりのための生活環境の整備	公共下水道及び合併処理浄化槽の整備による環境向上。	公共下水道への一層の繋ぎ込みの推進。	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	公共下水道加入や合併処理浄化槽設置の拡大	生活排水処理率を上げることで、更に生活環境の向上を図る	公共下水道への繋ぎ込み促進対策 合併処理浄化槽助成金の拡大
	自主防犯防災組織の活性化	自主防犯防災組織の活動強化	自主防犯防災組織と合同で行うイベントマニュアルや活動事例紹介

B欄 改善策 ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	きめ細かな安心・安全のためのインフラ整備	地域内の歩行危険道路の解消	町道改良 側溝改修による歩行空間確保 道路の隅切り
	大災害を想定した施設整備	大災害に対応できる施設等の整備	中央体育館(避難所兼務) 災害用品備蓄庫 消防詰所 防火水槽 地域防災計画の大幅見直し

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

<input type="checkbox"/>	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
<input type="checkbox"/>	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
<input type="checkbox"/>	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
<input type="checkbox"/>	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
<input type="checkbox"/>	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画				
			年度	年度	年度	年度	確定	見込み			予定時期	計測方法	その他特記事項		
指標1	防災に関する満足度	-	2.5	H18	2.8	H23	確定	●	2.8	○	あり	→	平成24年7月頃	地域住民を対象とした満足度調査(5段階で評価)によって、確定値を求める。	-
							見込み								
指標2	安心安全に関する満足度	-	2.7	H18	3.0	H23	確定	●	2.7	△	あり	→	平成24年7月頃	地域住民を対象とした満足度調査(5段階で評価)によって、確定値を求める。	-
							見込み				なし				
指標3	避難地の確保率	%	58	H18	100	H23	確定	●	100	○	あり	→			
							見込み				なし				
指標4	健康増進施設の利用者数	人/年	0	H18	8,000	H23	確定	●	9,600	○	あり	→	平成24年7月頃	健康増進施設供用後1年間の利用者数の実績より、確定値を求める。	-
							見込み				なし				
指標5	生活排水処理率	%	42	H19	55	H23	確定	●	50.0	△	あり	→	平成24年7月頃	公共下水道へのつなぎ込み及び合併処理浄化槽処理の人数の実績により、確定値を求める。	-
							見込み				なし				
その他の数値指標1	防災に対する住民意識の向上	点	3	H18	/	/	確定	●	3.4	/	/	→	平成24年7月頃	自主防犯防災組織の各地区の代表者を対象とした防災に対する意識調査(5段階で評価)によって、確定値を求める。	-
その他の数値指標2	健康増進に対する住民意識の向上	点	3	H18	/	/	確定	●	4.4	/	/	→	平成24年7月頃	健康増進施設利用者を対象とした健康増進に対する意識調査(5段階で評価)によって、確定値を求める。	-
その他の数値指標3	生活環境に対する満足度	点	3	H18	/	/	確定	●	3.8	/	/	→	平成24年7月頃	地域住民を対象とした満足度調査(5段階で評価)によって、確定値を求める。	-

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	・指標1の「防災に関する満足度」によって、災害に強い地域づくりの明確な目標になり得たとともに、住民による防災意識の高まりを評価できた。	・今後も、住民の防犯防災活動に対する側方的な支援を継続する。
	うまくいかなかった点		
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	・自主防犯防災組織づくりや防災訓練等の実施により防災に対する意識の高まりを評価できた。	・より多くの人に認識されることや、住民からの意見が得られるような情報公開の方法等を工夫・実施する必要がある。
	うまくいかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	・庁内の横断的な組織によって、様々な視点から効果発現要因等を検討することができた。	・今後も庁内の事業において、様々な視点からの検討が必要になった場合は、庁内の横断的な組織による検討が有効である。
	うまくいかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		

添付様式6—参考記述 今後、交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	国富町ホームページへの掲載	平成23年10月 3日～10月31日	平成23年10月 3日～10月31日	担当課への電話	企画財政課
広報掲載・回覧・個別配布	広報に町のホームページで原案を公表する旨を掲載	町報：広報くにとみNO,454(平成23年10月1日発行)	平成23年10月 3日～10月31日		
説明会・ワークショップ	-				
その他	町役場(企画財政課)での窓口閲覧	平成23年10月 3日～10月31日	平成23年10月 3日～10月31日		

住民の意見	住民からの意見なし
-------	-----------

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	社会福祉協議会 副理事長 篠原 頼正	平成23年12月14日	企画財政課	国富町都市再生整備計画事業評価委員会設置要綱	独自に設置
その他の委員	区長会長、議会議長 計2名				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・方法書に従って、事後評価が適正に実施されたことが確認された。
	成果の評価	・指標2の「安心安全に関する満足度」の評価値が目標値を下回っていることについて質問があった。⇒指標2の「安心安全に関する満足度」の直接的効果発現要因は道路整備であり、今年度全て完了することにより目標値を達成するものと確信していると回答。
	実施過程の評価	・地元消防団の協力により危険箇所の点検、防犯防災機器の点検、講習会等を行っており、地域住民による自主防犯防災組織体制が構築されていることが確認された。
	効果発現要因の整理	・効果発現要因が適正に整理されていることが確認できた。
	事後評価原案の公表の妥当性	・原案の公表について、ホームページによる公表だけではなく、窓口閲覧を実施する旨の公表を行ったが、窓口への閲覧者は無く、また電話及びメール等による意見も寄せられなかった。
	その他	・特になし。
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続きは妥当であると認められた。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	・今後のまちづくり方策を少しでも早く完了して、目標とするまちづくりを実現することが重要であるとの意見があった。
	フォローアップ	・フォローアップ計画が適正であることが確認された。
	その他	・特になし。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・今後のまちづくり方策は妥当であると認められた。
その他	・特になし。	

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

都市再生整備計画(第7回変更)

くにとみ
国富地区(案)

みやざき くにとみちょう
宮崎県 国富町

平成23年8月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	宮崎県	市町村名	くにとみちよう 国富町	地区名	くにとみ 国富地区	面積	880 ha
計画期間	平成 19 年度 ~ 平成 23 年度	交付期間	平成 19 年度 ~ 平成 23 年度				

目標

大目標 安心・安全で住みよい元気なまちづくり

目標1:防災機能の整備充実や住民による防犯防災活動の機能を高め、災害に強い安全な地域づくりをめざす。

目標2:交通の利便性や安全性、歩行環境の向上をめざす。

目標3:子どもの安心安全対策や地域住民の健康づくり、生活環境整備の推進を通して住みよい元気なまちづくりをめざす。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

① 本地区は、本庄川と深年川の流域に広がる市街地と周辺の田園地帯からなり、施設園芸を中心とした営農が展開され、良質で豊富な水量から企業集積も高まるなど、農工商が調和するまちづくりがなされてきたが、近年、企業の大規模な設備投資が相次ぎ、都市的機能が高まる中、雇用者数が飛躍的に増加しており、交通量の増大から、交通渋滞はもとより交通安全上の環境悪化が懸念されている。

② また、河川流域に位置しているため、台風や長雨の増加により、浸水被害が発生する頻度が高まっており、特に平成17年度の台風14号により、市街地の

課題

住民が安心して安全に暮らせる住みよい元気なので地域社会づくりのためには、災害に強い基盤整備をはじめ道路交通の利便性の向上や交通安全対策、排水処理等の生活環境対策を進めることが重点課題となっている。また、住民自らの安心安全に対する地域活動の展開や健康づくり運動の環境整備が必要となるほか、安心して子育てを行う環境づくりも求められている。

① 市街地の周辺は水害地域であることから、避難所や避難路の整備、湛水防除が急務となっているほか、住民による防災活動の取り組みが課題となっている。

② 急激な雇用者の増か

将来ビジョン(中長期)

都市的機能と農林業的機能が調和する環境の中で、安心・安全で住みよい生活空間が確保された健康で元気な田園都市

・第四次総合計画では、「情熱・創造・躍動みなぎる健康田園都市」をキャッチフレーズに、安全で住みよい生活空間づくりや安心・安全な地域社会づくりを施策の柱として位置づけされている。

・都市計画マスタープランでは、災害に強く暮らしやすい安全で便利な都市として位置づけ、防災施設や防災体制の整備拡充、交通事故防止の対策、防災組織づくりなどが方針とされている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値
				基準年度	目標年度
防災に関する満足度	—	事前事後アンケート調査に基づく、事前と比較した防災対策に関する満足度	大規模な災害時に救助活動の中核機能を担う施設に耐震対策が施されていないなどの危機管理体制や浸水対策が不十分なことに対して、事後を2.8と見込む。	2.5	平成18年度 2.8 平成23年度
安心安全に関する満足度	—	事前事後アンケート調査に基づく、事前と比較した安心安全対策に関する満足度	雇用増に伴う通行車両の増加及び通学路に歩道がないことなどに対する安心安全対策が不十分なことに対して、事後を3.0と見込む。	2.7	平成18年度 3.0 平成23年度
避難地の確保率	%	避難所・避難路整備による避難地の確保率	川南地域において避難所・避難路を整備することによる避難地の確保率を100%と見込む。	58	平成18年度 100 平成23年度
健康増進施設の利用者数	人/年	健康増進施設整備による施設の利用者数	地区内人口14,200人及びFHP社従業員2,000人のうち延べ人数で約5割が利用すると見込む。	0	平成18年度 8,000 平成23年度
生活排水処理率	%	町内における生活排水処理人口	地区内の下水道整備による生活環境対策を推進することにより、行政人口の約55%の処理率を見込む	42	平成19年度 55 平成23年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(防犯防災対策による災害に強い安全な地域づくり)</p> <p>①調整池を確保し、ポンプによる湛水の強制排水を行う施設を整備し、浸水被害の軽減を図る。 ②避難路、避難所(オープンスペース含む)を確保し、災害時における地域住民の安全対策を図る。 ③防災の中枢機能を担う拠点となる公共施設の耐震対策を行い、大規模な自然災害に対する指揮系統や救助活動など危機管理体制を構築する。 ④浸水地区の水防訓練を行い、救助や避難時に必要なライフ用品を整備し、水害に備えた防災機能を高める。 ⑤防災訓練や防災マップの整備、防災講座の開催などを通して住民に対する防災意識を高める。 ⑥地域の安全</p>	<p>基幹事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三名地区湛水対策事業 ・嵐田尻線道路新設事業(避難路兼用) <p>提案事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁舎耐震対策事業 ・川南地区健康増進センター整備事業(避難所兼用)/地域創造支援 ・防災に対する意識調査/事業活用調査 ・安心安全な地域づくり推進事業/まちづくり活動推進 ・校内緊急時110番通報事業/まちづくり活動推進 ・川南地区健康増進センター水道整備事業/地域創造支援事業
<p>整備方針2(交通の利便性や安全性、歩行環境の向上による安全で住みよい地域づくり)</p> <p>①企業の設備投資に伴い1,000人を超える新規雇用が生まれ、業務や通勤による工場への出入車両が飛躍的に増加してくるため、交通混雑の解消や交通安全対策として道路の新設改良を行う。 ②通勤時間や製品資材の搬出入の利便性を図り、企業の生産能力の経済性を高めるため、産業道路としての交通アクセスを整備する。 ③車歩道が一体となっている通学路に歩道を整備することにより、歩行者の安全確保を図る。 ④蓋掛けのない町道の側溝新設及び改修、道路修繕によりより安全に歩行できるよう整備する。</p>	<p>基幹事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嵐田尻線道路新設事業(避難路兼用) ・岩知野平原線道路新設改良事業 ・牟田塚原線道路改良事業 ・森永橋歩道橋整備事業(サイクリングロードとしても活用) ・仲町3号線道路改良事業 ・六日町犬熊線道路修繕・側溝改修事業 ・犬熊線側溝改修事業 ・荒牧線側溝改修事業 ・森永福山線側溝改修事業 ・平城下線側溝改修事業 ・向陽線側溝改修事業 ・宮王丸十日町東線側溝改修事業 <p>提案事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全に対する意識調査/事業活用調査
<p>整備方針3(子育て環境の改善や健康づくり、生活環境整備による住みよい元気なまちづくり)</p> <p>①従業者数2,000人体制となる企業が立地する川南地域に健康増進施設を整備し、地域や企業の健康づくり、交流を促進させ、元気なまちづくりを推進する。 ②正しい歩き方の講習会やウォーキングマップの作成、ウォーキング大会の開催など健康づくり運動を推進する。 ③学校の長期休暇期間における学童の保育を行い、子どもの安全対策を推進する。 ④地区内の生活環境整備として下水道整備を推進する。</p>	<p>基幹事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国富運動公園 ・犬熊区公園(広場) <p>提案事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川南地区健康増進センター整備事業(避難所兼用) ・森永児童館整備事業/地域創造支援事業 ・健康づくり推進事業/まちづくり活動推進 ・すこやか学童保育事業/まちづくり活動推進 ・下水道整備事業/地域創造支援
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業終了後の継続的なまちづくり活動 <ul style="list-style-type: none"> ・自主防犯・防災組織など、地域住民自らの取り組み活動を支援し、自ら守る安心・安全な地域社会づくりの意識を高め、自主活動の定着化を推進していく。 ・子どもの登下校時の交通安全や防犯対策を地域住民で支えあう活動として継続的に発展させていく。 ○安心安全なまちづくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・計画区域内の小中学校(4校)において耐震対策を計画しており、平成21年度までには耐震事業を完了することになっている。 ・通学路を対象に防犯灯を設置(安全な町づくり防犯灯設置事業 H17～H) 	

<都市再生整備計画の整備方針等>

【記入要領】

・必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。

・「計画区域の整備方針」欄は、目標を達成するために具体的に何をするのかを簡潔に箇条書きするとともに、欄の右にある「方針に合致する主要な事業」欄に、本計画に位置付けられている事業のうち当該整備方針に合致する主要な事業の事業名を記入すること(1つの事業が複数の方針に合致することもあり得る)。

・「その他」欄は、都市再生整備計画に関する事項として、特筆すべき内容があれば記載してください。

・その他記載にあたっての留意事項は、「都市再生整備計画策定の手引き」を参照すること。

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	3,492	交付限度額	1,436.8	国費率	0.411
---------	-------	-------	---------	-----	-------

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路	道路	嵐田尻線	国富町	直	L=1,850m	H19	H21	H19	H21	893.5	893.5	893.5		893.5
		岩知野平原線	国富町	直	L=980m	H19	H23	H19	H23	211.5	211.5	211.5		211.5
		牟田塚原線	国富町	直	L=707m	H19	H21	H19	H21	87.1	87.1	87.1		87.1
		向高須志田線	国富町	直	L=300m	H19	H23	H19	H23	830.9	830.9	830.9		830.9
		仲町3号線	国富町	直	L=104m	H22	H23	H22	H23	10.2	10.2	10.2		10.2
		六日町犬熊線	国富町	直	L=320m	H23	H23	H23	H23	32.5	32.5	32.5		32.5
		犬熊線	国富町	直	L=110m	H22	H23	H22	H22	0.6	0.6	0.6		0.6
		荒牧線	国富町	直	L=130m	H22	H23	H22	H22	0.7	0.7	0.7		0.7
		森永福山線	国富町	直	L=40m	H22	H23	H22	H22	0.2	0.2	0.2		0.2
		平城下線	国富町	直	L=130m	H22	H23	H22	H22	0.7	0.7	0.7		0.7
		向陽線	国富町	直	L=180m	H22	H23	H22	H23	9.9	9.9	9.9		9.9
		宮王丸十日町東線	国富町	直	L=1,475m	H22	H23	H22	H23	96.0	96.0	96.0		96.0
地域生活基盤施設	地域防災施設	三名	国富町	直	A=22,759㎡	H19	H21	H19	H21	661.7	661.7	661.7		661.7
地域生活基盤施設	川南地区健康増進センター整備事業	川南	国富町	直	A=6,301㎡	H21	H22	H21	H22	220.3	220.3	220.3		220.3
地域生活基盤施設	広場	犬熊区公園	国富町	直	A=1,500㎡	H22	H23	H22	H23	28.2	28.2	28.2		28.2
高質空間形成施設		国富運動公園	国富町	直	A=1,000㎡	H22	H23	H22	H23	25.7	25.7	25.7		25.7
合計										3,109.7	3,109.7	3,109.7		3,109.7

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造支援事業	庁舎耐震対策事業	稲荷	国富町	直	A=2,235㎡	H19	H20	H19	H20	208.8	208.8	208.8		208.8
	下水道整備事業	十日町地区	国富町	直	A=73ha	H20	H22	H20	H22	41.0	41.0	41.0		41.0
	森永児童館整備事業	森永地区	国富町	直	A=1,274㎡	H22	H22	H22	H22	104.6	104.6	104.6		104.6
	川南地区健康増進センター水道整備	川南地区	国富町	直	L=404.3m	H22	H22	H22	H22	8.1	8.1	8.1		8.1
事業活用調査	交通安全・防災に対する意識調査	—	国富町	直	—	H22	H23	H22	H23	4.5	4.5	4.5		4.5
まちづくり活動推進事業	安心安全な地域づくり推進事業	—	国富町	直	—	H19	H22	H19	H22	1.2	1.2	1.2		1.2
	すこやか学童保育事業	—	国富町	直	—	H19	H21	H19	H21	10.5	10.5	10.5		10.5
	校内緊急時110番通報事業	—	国富町	直	—	H19	H20	H19	H20	0.8	0.8	0.8		0.8
	健康づくり推進事業	—	国富町	直	—	H19	H21	H19	H21	2.9	2.9	2.9		2.9
合計										382.3	382.3	382.3	0.0	382.3

合計(A+B) 3,492.0

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度	
小中学校の校舎・屋内運動場の耐震対策事業	木脇・本庄・八代	国富町	文部科学省	—		○			H10	H20	1,810.0
安全なまちづくり防犯灯設置事業	木脇・本庄・八代	国富町		388基			○		H17	H19	11.0
汚水処理施設整備交付金	十日町地区	国富町	内閣府	73ha		○			H18	H22	1,641.0
合計											3,462.0